

2018 年度協定校短期プログラム 留学報告書

※記載されている内容は留学時の情報に基づくものです。

学部・学科および学年(留学時)	環境情報学部 3 年
性別	女
留学先国・大学名	大韓民国・梨花女子大学
留学期間	セッション 1(6 月 25 日~7 月 25 日)

留学準備について

留学前あるいは留学中にどのような準備を行いましたか。

留学前(春学期前半)は、英語の授業に慣れるため、SFC の英語で開講される GIGA の授業を多く取りました。今まで韓国語を勉強したことがなかったので、ハングルをできるだけ読めるように勉強しました。

費用について

(留学にかかった経費を教えてください。)

	日本円	現地通貨
航空券(往復)	33220 円	
保険料(本学指定のもの)	9582 円	
住居費		640000 (KRW)
食費	40000 円くらい?	
通信費	10850 円 (wifi レンタル代)	
おこづかい		
その他(教材費)		170000 (KRW) (陶芸材料費、語学教科書)
その他()		

留学をした理由等について

なぜ留学をしようと思ったのか教えてください。

昨年夏に、慶應主催の短期海外研修に参加し、一ヶ月間イギリスに留学したが、参加者が慶應生なので普段の生活では日本語を使用し、日本人との交流がほとんどだったので、もっといろいろな国から来ている人と交流したいと思ったからです。韓国と日本はとても近い国ですが、韓国に関してはテレビで放送される表面的なことしか知らなかったもので、韓国の文化を学んでみたいと思ったからです。

留学先の国・地域および留学先大学について

留学先の国・地域および留学先大学を特に志望した理由があれば教えてください。

サマースクールでの授業料免除制度があったからです。梨花女子大学には、芸術学部があり、自分が学びたい芸術関連の授業があったのと、プログラムの内容が充実していたからです。

大学が所在する街の様子を教えてください。(街の雰囲気や治安、気候などについて)

街は学生街で、学校周辺にはお店がたくさんあり、Daiso もあるので、日常生活に困ることはありません。また、近くに駅が二つあり、明洞など観光地にすぐ行くことができます。気候は日本とほとんど変わらないと思います。食料品などに物価が、日本よりやや高いと感じることがありました。(交通費は安かったです。)治安が悪いと感じたことはありません。

留学先の国・地域の良い点・悪い点、またそこに留学するにあたって事前に準備したほうがよいことがあれば教えてください。

日本と似ているところが多いので、生活しやすかったです。当たり前ですが、生活の基本は韓国語なので、食品の原材料が分からなかったり、調理方法が分からなかったり、お店に行ったときに、店員さんが言っていることが分からなかったりと苦労しました。

プログラムを振り返って

1日のスケジュールについて教えてください。

9:00-11:30 1時間目(私の場合は、陶芸)

11:30-12:30 昼休み(たいてい、お店がたくさんある ECC という大きな建物でお昼を食べていました。)

12:30-15:00 2時間目(私の場合は、音楽)

15:30-18:30 韓国語授業

授業はいかがでしたか。(授業の行われ方・内容に関する日本との違い、課題・勉強量・時間 等について)

陶芸のクラスは、先生の短いレクチャーの後、各々で作成を進めました。音楽のクラスは、はじめの1時間は先生のレクチャーで、残りの時間は、個人練習&個人指導。三つの楽器を習いました。先生の演奏会を見に延世大学に行ったり、Closing Ceremony では韓服を着て、他の参加者の前で発表したりしました。韓国語の授業は、慶應の語学の授業とあまり変わらないと感じました。各々の授業数が16回あり、それぞれ2時間半程度あるので、一ヶ月でも深く学ぶことができました。

課外活動はいかがでしたか。特に印象に残ったものがあれば教えてください。

毎週金曜日が、field trip の日になっていて、韓国民俗村、キムチ作り、Everland(遊園地)、DMZ(非武装地帯)に行きました。どれも楽しかったですが、特に印象に残ったのは、追加費用を払って参加した、土日に行われた Temple Stay です。Tea Ceremony のときに聞いた話がとても興味深く、今でも心に残っています。

日常生活はいかがでしたか。(寮生活、クラブ活動、ボランティア、学生交流、日本から持参するとよいもの等について)

恐らく Session1 だけだと思いますが、PEACE Buddy という制度があり、留学生数人に対し、梨花の学生一人が割り当てられます。梨花の学生さんが、夕飯に韓国のオススメのお店に連れて行ってくれたり、他のグループと一緒に出かけたりしました。これを通して韓国のことをより知れたし、とても楽しかったです。寮は、ダブルルームにしましたが、部屋は広くはないので、ルームメイトとの生活リズムが合わなかったりし、いろいろ苦労し、嫌な思いもしました。でもダブルルームにしたことで、友達がすぐにできたので、ダブルルームにしたことは後悔していません。

留学をして得たもの、良かった点・悪かった点などを教えてください。

良かった点 ; 留学を終えて思うことは、思っていたよりもずっと得るものが多かったということです。韓国語もできないし、英語にも自信がないなか参加しましたが、世界中からきている人と交流し、多くの友達を作れることができ、またその中で、日本に行ったことがある、日本の文化が好きという人が多くいて、留学を通して日本について改めて考えるきっかけを得ることができました。学校内の寮に住んでいて通学時間が

ほとんどないので、勉強など自分がやりたいことに集中できたこともとても良かったです。
悪かった点：強いて言うならば、慶應の授業を前半学期しか受けられなかったことです。

今後プログラムへの参加を希望する学生へのアドバイス

Session1 は、日本ではまだ授業がある時期なので参加することは難しいと思いますが、その分、日本人が少ない環境(参加者 250 人越で日本人は 10 人ほど)の中で生活することができ、また友達を作る機会がたくさんあるので、私のように世界中の人と交流したいと考えている人には、とてもお勧めできるプログラムです。

私は申し込みの際に色々トラブルがあったので、参加したい人は、早め早めの申し込みをお勧めします。また、問題があったときにメールで質問しても見てもらえていないことがあったので、何か質問したいことがある際は、直接電話で確認することもお勧めします。

梨花女子大学のサマースクール専用の Facebook に写真などが色々上がっているので、それを見てもらえると、雰囲気などが掴めるのではないかと思います。

留学中の様子がわかる写真を数枚貼付してください。(任意)

以上